

もも1組 1才児

11月から広い保育室で過ごすようになったももくみの子どもたち。戸惑うこともあるかと思いましたが、椅子につけてある自分のマークに気づいて探して座ったり、決まった場所に行き遊んでいる姿を見て、「大きくなったなあ」と成長を感じています。

これまでは、保育者との1対1の関わりが生活の多くを占めていましたが、最近では少しずつお友だちの存在を意識するようになりました。朝、笑顔で駆け寄り、手をつないで歩いたり、友だちの遊びをまねしている様子は、とてもほほえましいものです。12月は、クリスマスなどの行事もあるので子どもたちの笑顔が今から楽しみです。

冬に向かって日ごとに気温が下がっていますが、体調管理に気を付けながら、天気の良い日には、戸外でしっかり体を動かして遊びたいと思います。

0才児

急に寒くなりましたが、「お外に行こう!」と声をかけると、とても嬉しそうな表情になります。

くつ下を手渡すと、一生懸命はこうしたり、カラー帽を受け取ると、頭にのせてキョロキョロ周りを見まわしたり、ひとつひとつの動きがかわいらしく感じると同時に、“これは足にはくもの”、“これは頭にかぶるもの”などがよく理解できていることに、成長を感じます。園庭に出るとボールを追いかけてたくさん体を動かしたり、花壇の花や葉っぱに気づき、観察のようなことをしていたり、何をやっても楽しそうです。

お友だち同士の関わりも増え、1人が笑うとみんながしにこにこ笑顔になったり、おもちゃのやり取りをしている姿も見られるようになりました。今年も残りわずかですが、楽しく「笑顔で」毎日が過ごせるようにしていきたいと思っています。

